

産業廃棄物処理計画書

平成 30 年 6 月 22 日

新潟県知事 殿

提出者

住所 新潟県長岡市脇野町473番地

氏名 株式会社 山長組
代表取締役 長谷川 啓一

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0258-42-2226

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 山長組																								
事業場の所在地	新潟県長岡市脇野町473番地																								
計画期間	平成 30 年 4 月 1 日 から 平成 31 年 3 月 31 日 まで																								
当該事業場において現に行っている事業に関する事項																									
① 事業の種類	総合土木業																								
② 事業の規模	元請完成工事高 390百万円																								
③ 従業員数	23人																								
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<table><tr><td>廃プラスチック類</td><td>再生処理業者へ委託</td><td>→</td><td>材料として再資源化</td></tr><tr><td>鉄くず</td><td>中間業者へ委託</td><td>→</td><td>材料として業者へ売却</td></tr><tr><td>木くず</td><td>再生処理業者へ委託</td><td>→</td><td>木材チップや培養土として再資源化</td></tr><tr><td>がれき類</td><td>再生処理業者へ委託</td><td>→</td><td>再生砕石として再資源化</td></tr><tr><td>汚泥</td><td>再生処理業者へ委託</td><td>→</td><td>改良土として再資源化</td></tr><tr><td>建設混合廃棄物</td><td>中間業者へ委託</td><td>→</td><td>再資源化や管理型埋立処理</td></tr></table>	廃プラスチック類	再生処理業者へ委託	→	材料として再資源化	鉄くず	中間業者へ委託	→	材料として業者へ売却	木くず	再生処理業者へ委託	→	木材チップや培養土として再資源化	がれき類	再生処理業者へ委託	→	再生砕石として再資源化	汚泥	再生処理業者へ委託	→	改良土として再資源化	建設混合廃棄物	中間業者へ委託	→	再資源化や管理型埋立処理
廃プラスチック類	再生処理業者へ委託	→	材料として再資源化																						
鉄くず	中間業者へ委託	→	材料として業者へ売却																						
木くず	再生処理業者へ委託	→	木材チップや培養土として再資源化																						
がれき類	再生処理業者へ委託	→	再生砕石として再資源化																						
汚泥	再生処理業者へ委託	→	改良土として再資源化																						
建設混合廃棄物	中間業者へ委託	→	再資源化や管理型埋立処理																						

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（29年度）実績】								
① 現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	鉄くず	木くず	がれき類	汚泥	混合くず	
	排出量	3.02 t	7.59 t	126.43 t	1,415.23 t	2.20 t	1.53 t	t
	産業廃棄物の種類							
	排出量	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)								
残余資材のリユース、リサイクルへの取り組みを実施（建設資材のロスの低減）								
【目標】								
② 計画	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	鉄くず	木くず	がれき類	汚泥	混合くず	
	排出量	2.98 t	7.51 t	125.16 t	1,401.07 t	2.17 t	1.51 t	t
	産業廃棄物の種類							
	排出量	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)								
原単価当り（完成工事高当り）の排出量を把握し原単価当り排出量を前年度比-1%を目標とする。工事施工方法を含めた創意工夫に積極的に取組み残余資材のリユース、リサイクルに努める。								

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)							
	原則として上記の産業廃棄物ごとに分類している。							
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)							
	上記の現状を確実に実施する。							

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（29年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	鉄くず	木くず	がれき類	汚泥	混合くず		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量								
	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量								
(これまでに実施した取組)									
特に実施していない。									
【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	鉄くず	木くず	がれき類	汚泥	混合くず		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量								
	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量								
(今後実施する予定の計画)									
主に再生資源化に取り組む業者に委託する。									

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（29年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	鉄くず	木くず	がれき類	汚泥	混合くず		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量								
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量								
	産業廃棄物の種類								
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量									
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量									
(これまでに実施した取組)									
特にしていない。									
【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	鉄くず	木くず	がれき類	汚泥	混合くず		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量								
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量								
	産業廃棄物の種類								
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量									
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量									
(今後実施する予定の計画)									
主に再生資源化に取り組む業者に委託する。									

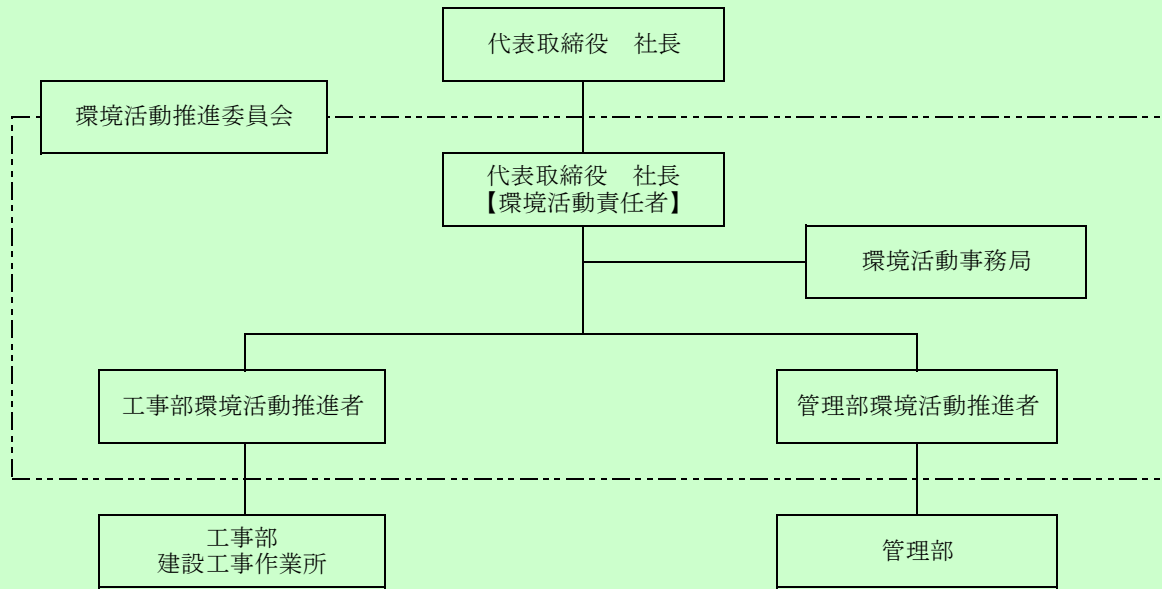
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（29年度）実績】									
① 現 状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	鉄くず	木くず	がれき類	汚泥	混合くず		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
特に実施していない。									
【目標】									
② 計 画	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	鉄くず	木くず	がれき類	汚泥	混合くず		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									
実施予定なし。									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（29年度）実績】									
① 現 状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	鉄くず	木くず	がれき類	汚泥	混合くず		
	全処理委託量	3.02	7.59	126.43	1,415.23	2.20	1.53	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	115.75	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	3.02	7.59	10.68	1,415.23	2.20	1.53	t	t
	認定熱回収業者への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	全処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t	t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
(これまでに実施した取組)									
産業廃棄物を委託する業者を選定して書面による契約を実施。									

【目標】																			
① 計画	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	鉄くず	木くず	がれき類	汚泥	混合くず												
	全処理委託量	2.98	t	7.51	t	125.16	t	1,401.07	t	2.17	t	1.51	t		t		t		
	優良認定処理業者への処理委託量		t		t	125.16	t		t		t		t		t		t		
	再生利用業者への処理委託量	2.98	t	7.51	t		t	1,401.07	t	2.17	t	1.51	t		t		t		
	認定熱回収業者への処理委託料		t		t		t		t		t		t		t		t		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t		t		t		t		t		t		t		t		
	産業廃棄物の種類																		
	全処理委託量		t		t		t		t		t		t		t		t		t
	優良認定処理業者への処理委託量		t		t		t		t		t		t		t		t		t
	再生利用業者への処理委託量		t		t		t		t		t		t		t		t		t
認定熱回収業者への処理委託料		t		t		t		t		t		t		t		t		t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t		t		t		t		t		t		t		t		t	
(今後実施する予定の取組)																			
再生利用が可能な廃棄物については、再生資源化処理業者へ委託する。廃プラスチック類の再資源化にも積極的に取り組む。																			
※事務処理欄																			



管理フロー・内容	社長	環境活動責任者	環境活動事務局	管理部環境推進者	工事部環境推進者
方針の策定	◆	●			
状況の把握・評価	◆	◇	●	○	○
関連法規等の取りまとめ	◆	◇	●	◇	◇
目標・計画の取りまとめ	◆	●	○	○	○
実施体制の構築・管理運営の検討	◆	●	○	○	○
教育訓練・啓発運動	◆	◇	●	○	○
環境情報収集	◆	●		○	○
環境活動実施	◆	◇	●	○	○
緊急事態への準備・対応		◇	●	○	○
状況の確認・問題の是正	◆	●	●	○	○
文書及び記録の作成・整理		●	●	○	○
全体の評価と見直し	◆	●	●	○	○

【 凡例 ◆：承認 ◇：確認 ●：主管 ○：担当 □：業務・作業 】